

コロンビア経済情勢（６月）

【ポイント】

- 中銀は経済成長率を6.5%に上方修正
- 全国ストライキにより、6.1兆ペソの損失の見込み
- 新型コロナウイルスが、生産性に与えた損害は2兆ペソとの試算
- コロンビアの対中輸入額は増加

【本文】

1 主な出来事

<国内情勢>

（１）中銀は経済成長率を上方修正（「ラ・レプブリカ」紙、29日）

中銀は、2021年の経済成長率を6%から6.5%に上方修正した。新型コロナウイルス流行の第3波が第2四半期を直撃したにもかかわらず、第1四半期の経済成長及び経済活動指数が好調であったことを評価した。これは、OECDの7.6%、Fedesarrolloの7.2%、コロンビア金融機関協会（ANIF）の6.6%との予測と比較しても低い、財務・公債省が策定した中期財政枠組みで採用された見通しよりも0.5ポイント高い。

（２）国家統計庁は、4月の経済活動指数を28.7%と発表（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、18日）

2021年4月の経済活動指数は、28.7%となった。これは、大幅な落ち込みを記録した前年同月の▲20.7%と比較し、経済の回復を示しているとみられる。

（３）全国ストライキにより、6.1兆ペソの損失の見込み（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、3日）

シンクタンクであるFedesarrolloは、1ヶ月以上続いている全国ストライキによるデモや道路封鎖の影響で、4.8兆ペソ（約13億米ドル）から6.1兆ペソ（約16億米ドル）の経済的損失が出たとの見解を示した。

（４）BBVA銀行は経済成長率予測を発表（「ラ・レプブリカ」紙、18日）

BBVA銀行は、コロンビアの経済成長率を2021年には5.5%、2022年には4.8%とする予測を発表した。これは、2021年には個人消費が経済再活性化をリードし、2022年には投資と輸出が経済成長をリードするとの見解に基づく。しかし、同社の予測は、財務・公債省の6%、Fedesarrolloの7.2%、OECDの7.6%との予測より低いものとなっている。

（５）新型コロナウイルスが、生産性に与えた損害は2兆ペソとの試算（「ポルタフォリオ」紙、23日）

生産人口とされる18歳から62歳までの350万人のうち、合計で301万7,764人がコロナウイルスに感染したとみられている。労働者が14日間不在となることを考慮すると、同ウイルスの流行が生産性に与える損害は約2兆ペソ（約5億米ドル）となると試算される。

(6) 連帯所得プログラムが支給(「ポルタフォリオ」紙、26日)

社会繁栄局は、6月29日から連帯所得プログラムの支払いを実施し、約290万世帯に支給を実施する旨発表した。また、政府は、受け取りを継続できる受益世帯を定義し、さらに2回の支給を行えるよう実施期間を延長した。

(7) カタトゥンボ地区の道路インフラに9,080億ペソを投資(「ラ・レプブリカ」紙、28日)

運輸省道路院(Invias)は、カタトゥンボ地区の道路インフラに9,080億ペソ(約2億米ドル)を投資した旨、合法性のある平和戦略の報告会で発表した。

(8) 鉱山・エネルギー相がエネルギー転換政策について発表(「ラ・レプブリカ」紙、20日)

メサ鉱山・エネルギー相は、エネルギー移行法が国会で承認されたのを受け、エネルギー転換政策についての国のプロセスが開始されると発表した。法律第1715号により、新エネルギーに関しては、所得税の控除、付加価値税の免除、関税の免除、加速償却の恩恵を受けることができる。また、同法は、新エネルギーに関する投資及びスマートメタリング機器も適用するとした。

(9) 5G通信網オークション(「ポルタフォリオ」紙、25日)

2021年の後半に5G通信網に用いられる3.5GHzの電波帯オークションが開催される可能性がある。政府が要求する要件はまだ不明確であるが、2019年に行われた700MHzのオークションと同様のモデルが採用されるとみられる。

(10) 2020年に損失が出た企業(「ラ・レプブリカ」紙、14日)

新型コロナウイルスによる損失に関し、企業監督庁は、コロンビア上位1,000社の情報を公開した。これによると、コロンビアで最大の損失を被った民間企業はアビアンカ航空となり、18億1,800万ペソ(約47万米ドル)の損失となった。また、2位は石油会社、Frontera Energy社、3位は鉱業会社、Prodecoとなった。また、カルタヘナ製油所、石炭会社であるCarbones del Cerrejon社、生鮮食品業のJeronimo Mertins社、エネルギー産業のGran Tierra Energy社、同じくエネルギー産業のCepsa Colombia社、石油・ガス関連のEmerald Energy社、ホテルチェーンのDecameron社が続いた。

(11) ハビ社は、ソフトバンク社などから1億米ドルを調達(「ラ・レプブリカ」紙、23日)

IT技術を活用した住宅用不動産業のスタートアップ企業であるハビ社は、ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドなどから1億米ドルを調達した旨発表した。これは、Rappi社が調達した5,200万米ドルを超えて最大の調達となる。同社は、調達資金を活用し、コロンビアでの事業及びメキシコ進出を拡大するとしている。

(12) 原油埋蔵量は6.3年分で維持(「ラ・レプブリカ」紙、1日)

2020年に、原油価格が大幅に下落したにもかかわらず、コロンビアの原油埋蔵量は6.3年分に維持された。一方、天然ガスの埋蔵量は、8.1年分から7.7分となり、3年連続で下落した。

(13) 破産件数は43%増加(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、11日)

5月中に、破産を申請した自然人の数は、前月比で43%増加した。これは、全国ストライキの経済的影響に関する分析の中で明らかとなった。また、主な原因は債務不履行であった。新型コロナウイルス流行による小売店の閉鎖と全国ストライキによる状況不安定により、収入が減少したことが原因とみられる。

(14) 60万人分の若者の雇用創出(「ポルタフォリオ」紙、27日)

若者の失業率に関し、政府と企業家は共同プロジェクトを計画しており、少なくとも60万人分の雇用の創出を目指すとしている。また、追加で新たなプロジェクトを実施することにより、今後数年間でさらに多くの雇用を生み出すことができるとしている。

ドゥケ大統領は、新たに策定した法令に基づいて、18歳から28歳までの最も深刻な失業問題を抱えている層を雇用した企業に対し、最低賃金の25%の補助金を与える戦略を公式に発表している。

(15) 対外債務は、GDPの50.8%に(「ラ・レプブリカ」紙、10日)

中央銀行は、3月時点でのコロンビアの対外債務を発表した。同報告書によると、公的及び私的債務の合計は、1,536億2,800万米ドルとなり、前年同期の1,405億4,300万米ドルと比較して、9.3%の増加となった。このうち、公的債務は893億9,800万米ドル、私的債務は642億3,000万米ドルとなった。また、対外債務総額は、GDPに対し50.8%となった。

(16) コロンビアの輸出の回復は低調(「エル・ヌエボ・シグロ」紙、4日)

米州開発銀行(IDB)は、6月3日に発表したレポートによると、2021年の第一四半期のコロンビアの輸出額は、前年比で0.8%しか増加しなかった。ラテンアメリカ地域での輸出の改善と比較して、域内で最悪の低調な水準となった。

(17) MSCICOLCAP 指数は世界最悪の下落(「ポルタフォリオ」紙、19日)

新型コロナウイルス流行による株価への影響に関し、コロンビア株式市場は、他国の市場と比較して、緩やかな回復となっており、2021年第1四半期は▲11.35%の下落となった。MSCICOLCAP 指数の46%が金融部門の企業で構成されており、経済危機が金融分野に打撃を与えたことが原因とみられている。また、外国投資家が純売りを行なっていることも、下落圧力となっているとした。

<対外経済関係>

(1) コロンビアの対中輸入額は増加（「ラ・レプブリカ」紙、21日）

国家統計庁（DANE）は、2021年4月のコロンビアの輸入について発表した。これによると、同月の輸入額は、46億9,670万米ドルに達し、前年同月と比較して51.7%の増加に相当する。このうち11億4,860万米ドルに相当する24.5%は、中国からの輸入となる。続いて、米国、メキシコ、ブラジル、ドイツ、スペイン、インドからの輸入となった。中国からの主な輸入品目は携帯電話及びコンピューターであった。

(2) コロンビア産米がキューバに輸出（ラ・レプブリカ）紙、8日）

農業・地方開発省及びコロンビア農畜庁（ICA）は、コロンビア産米がキューバに輸出される旨発表した。政府によると、これにより、国内の米生産を強化し、農業部門の経済発展に貢献するとした。

主な経済指標

経済活動指標	2020/04	2021/2	2021/3	2021/4
国内総生産(四半期)(DANE): %	-15.8	1.1	1.1	N/A
経済活動指数(DANE): %	-21.7	-3.6	11.8	N/A
経済活動指数第1次産業(DANE): %	-11.3	-9.4	4.0	N/A
経済活動指数第2次産業(DANE): %	-50.9	-5.9	24.9	N/A
経済活動指数第3次産業(DANE): %	-15.9	-1.8	10.2	N/A
エネルギー需要(XM): GWh	5,201	5,668	6,233	6,004
エネルギー需要ー前年同月比(XM): %	-10.7	-2.0	3.6	15.4
雇用				
全国平均失業率(DANE): %	19.8	15.9	14.2	15.1
主要13都市失業率(DANE): %	23.5	18.1	16.8	17.4
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO): %	-41.3	-14.6	-11.4	-34.2
実質小売売上高指数(DANE): %	-42.9	1.2	20.1	75.0
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS): 台	217	19,689	22,933	19,033
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS): 台	51,481	34,038	56,971	76,004
物価				
消費者物価上昇率ー前年同月比(DANE): %	0.16	0.6	0.5	0.6
消費者物価上昇率ー前年比(DANE): %	3.16	1.56	1.56	1.95
生産者物価上昇率ー前月比(DANE): %	-3.30	2.85	2.53	1.12
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省): ペソ/ガロン	8,286	8,647	8,847	8,847
生産				
実質工業生産指数(DANE): %	-35.8	0.6	20.7	63.7
実質工業売上高指数(DANE): %	-35.9	2.2	21.1	60.8
新規建設着工承認面積(DANE): m ²	326,032	1,916,715	1,748,737	1,552,982
コーヒー生産量(FNC): 千袋(60Kg)	744	1,107	1,050	810
コーヒー生産量ー前年同月比: %	-28	11	30	9
コーヒー価格(IOC)/ 11月から "SUAVE": USD	164.62	177.28	179.15	181.68
石油生産量(日量)(鉱山省): バレル	796,164	745,769	745,414	745,488
石油生産量ー前年同月比(鉱山省): %	-10.6	-15.1	-13.0	-6.4
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省): バレル	853,885	745,586	745,529	745,519
石油価格WTI: USD /バレル	16.55	59.04	62.33	61.72
金融				
政策金利(中央銀行): %	3.75	1.75	1.75	1.75
為替 月初(中央銀行): COP	4,054.54	3,559.46	3,624.39	3,678.62
為替 月末(中央銀行): COP	3,983.29	3,624.39	3,736.91	3,712.89
為替 最高値(中央銀行): COP	4,081.06	3,624.39	3,736.91	3,717.46
為替 最安値(中央銀行): COP	3,858.21	3,515.65	3,534.62	3,595.57
株式指数 月初(中央銀行): COP	1,063.03	1,357.16	1,355.70	1,323.97
株式指数 月末(中央銀行): COP	1,142.04	1,359.48	1,316.81	1,250.65
株式指数 最高値(中央銀行): COP	1,211.06	1,383.38	1,356.98	1,335.89
株式指数 最安値(中央銀行): COP	1,063.03	1,335.79	1,314.46	1,250.65
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE): 百万米ドル	-1,047	-718	-1,238	-1,488
輸出額(FOB)(DANE): 百万米ドル	1,867	2,941	3,387	2,915
輸出額(FOB)ー前年同月比(DANE): %	-51.7	0.0	38.8	56.1
輸出額(FOB)年内累計(DANE): 百万米ドル	10,667	5,548	8,934	11,849
輸入額(CIF)(DANE): 百万米ドル	3,097	3,904	4,935	4,697
輸入額(CIF)ー前年同月比(DANE): %	-31.6	-1.6	37.5	51.7
輸入額(CIF)年内累計(DANE): 百万米ドル	14,983	7,726	12,661	17,358
労働者送金(中央銀行): 百万米ドル	349	609	789	678